

視力検査の練習方法

- ① 最初に、お子さまの左眼を遮眼子や畳んだハンカチ、手のひら等で確実に遮閉します。そのとき、遮閉している眼を強く圧迫しないように注意するとともに、眼をつぶらせないように注意します。

（強く押さえたり眼をつぶったりすると、眼を開けてもすぐには普段の見え方に戻らず、いつもの視力が測定できません。）

- ② お子さまの眼の高さと視標の高さを同じ高さにして、視標は視線に対して垂直に提示します。

- ③ 右眼から視標のランドルト環の切れ目を答えさせ、左眼についても同様に行います。

視標は、上下左右の4方向をランダムに提示します。



- ④ お子さまは切れ目の方向を指さして答えます。

当日の検査は、お子さまが視標から5m離れた所に立った状態で実施します。答え方の練習ができれば、ご家庭でも同じくらい離れて練習してみてください。